



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com



- 目次
- 1. 平成 31 年度木産協役員会開催!!
 - 2. 素材生産部会総会開催!!
 - 3. 外構部木質化対策支援事業開始!!
 - 4. JAS 構造材利用拡大事業継続!!
 - 5. 森林を活かす木造化推進協設立!!
 - 6. 木づかい運動継続 (保育園等) !!

1 平成 31 年度木産協第 1 回役員会開催!!

4月24日平成最後の木産協役員会が理事等18名の出席でメトロポリタン山形にて盛大に開催された。最初に阿部昭理事長が2期4年の任期の間ご支援いただいた会員に感謝を述べるとともに、今回で一身上の都合により理事長の職を辞したい旨の発言があった。実は前回の三役会あたりから勇退の意思を示しており、皆で慰留に努めましたが、その意思は固く後進に令和の木産協を託したいとのことでした。



役員会第1号議案では、令和元年度通常総会の日程と場所が提案され、令和元年5月24日(金)15:00~ホテルメトロポリタン山形で開催することが承認された。第2号議案では、通常総会提出議案について協議され、収支決算書の剰余金の詳細(オリパラ新規事業)について補足資料を追加し総会で説明をするという条件付きで承認された。第3号議案では、政治連盟通常総会提出議案について、原案どおり承認された。第4号議案では、2年に1回の役員改選について、現段階での支部推薦役員等の説明があり、未定の支部等に確認をしていくこととした。なお、役員改選については総会時に立候補と選挙が原則で、総会参加者の同意があれば指名推薦方式をとることができる定款の説明も行った。その他、令和元年度事務所執行体制及び業務分担についても承認された。最後に、今年度新規事業の「外構部の木質化対策支援事業」(後述)の説明をして、第2部の懇談会に移行した。

2 木産協素材生産部会総会・祝賀会開催!!

4月15日(月)素材部会員等16名の出席で山形市「浜なす分店」にて、平成31年度山形県木材産業協同組合素材生産部会総会と山形県川村造林記念林業賞を受賞した遠田勝一氏の祝賀会が開催された。総会では、初めに遠田部会長が挨拶し、当素材生産部会を立ち上げ一年が経過し、一定の成果が得られたことから勇退を発表した。その後、平成30年度実績報告、平成31年度事業計画等が原案どおり承認された。役員改選では、新素材生産部会長に佐藤久一氏(安楽城林産(株))が選出され、会員数の増加や地域バランス等踏まえ、下記のとおり承認された。その後、遠田勝一前部会長の県林業賞の受賞記念祝賀会がスタートした。



部会長 佐藤久一、副部会長 小関一也・海藤藤雄、理事 伊藤信一・阿部秀辰・遠田勝久
 監査 下山邦彦・佐藤五郎、顧問 遠田勝一・木産協理事長、事務局長 鈴木健治

3 外構部の木質化対策支援事業（木塀等）受付始まる!!

平成31年4月24日（水）から、全国木材協同組合連合会による林野庁新規事業「外構部の木質化対策支援事業」予算額約15億円がスタートした。木塀・木柵等の設置に3万円/m（最大500万円）、木製デッキや門扉等の設置に30万円/m²（最大1,000万円）を補助するもの。申請手続き等詳細については「JAS 構造材利用拡大事業」のホームページで公開しています。概要について説明すると、補助の要件は木塀等で1m当たり0.02 m³以上、1施設で0.05 m³以上の合法木材（木産協会工場）を利用すること、その他の外構部材については1施設につき0.2 m³以上の合法木材を利用すること。また、地際又は基礎に接する部分の木材は、薬剤の塗布などでJAS規格の性能区分K4またはAQ認証1種相当の処理を施したものとなっている。その他の木材もJAS規格の性能区分K3以上またはAQ認証2種相当以上の処理をしたものを使用することなどが挙げられている。要確認！

補助申請は対象施設が山形県であれば木産協を経由して全国木材協同組合連合会に提出する。申請は4月～10月末まで受付し、12月末まで施工及び補助金交付申請を終了すること。問い合わせはホームページにある全国木材協同組合連合会で受け付ける。

○一般の木製フェンス

【園芸試験場】

- 1 場所：寒河江市大字島字島南 423
- 2 施工者：
- 3 延長：26.4m
- 4 素材：スギ
- 5 価格：8万円/m（設計・基礎工事含む）



【鶴岡警察署（2施設）】

- 1 場所：上郷駐在所、藤島駐在所
- 2 施工者：
- 3 延長：51.8m、54.2m
- 4 素材：スギ
- 5 価格：1.7万円/m（既存基礎を利用）



※資料提供 県農林水産部森林ノミクス推進課木材産業振興班

4 JAS 構造材利用拡大事業継続（内容充実）

指定部位	柱、梁桁、トラス、土台(一部でも可)に 機械等級製材 が使用されることが事業申請への条件		
1. JAS 構造材への支援			
助成対象	全ての部位に使用された 機械等級製材 及び目視等級区分構造用製材(以下「目視等級製材」) <small>※合法伐採木材であることが証明できること</small>		
助成額算出式	次の①②③のうち最も低い額		
	①使用予定の床面積 助成対象床面積(予定)に平米単価を乗じたものを階毎に算出し、合計した額	②使用実績の床面積 助成対象床面積(実績)に平米単価を乗じたものを階毎に算出し、合計した額	③実際の調達費 機械等級製材及び目視等級製材の調達費(材料費、加工費、運搬費)
平米単価	最上階から数えて3未満の階2,000円/平米(非木造、住宅占有階を除く) 最上階から数えて3以上の階4,000円/平米		

※JAS 構造材利用拡大事業ホームページを参照してください。

5 森林を活かす都市の木造化推進協議会設立!!

4月19日（金）自由民主党の国会議員による「森林を活かす都市の木造化推進議員連盟」結成を受け、代表（一社）日本林業協会会長前田直登、（一社）全国木材組合連合会会長鈴木和雄、全国森林組合連合会会長村松二郎、（一社）日本木造耐火建築協会会長木村一義らが発起人となり、「森林を活かす都市の木造化推進協議会」を立ち上げた。

戦後、戦禍により焦土と化した街と戦中戦後の乱伐等により荒廃した森林の復興が国家的な命題となっていた我が国においては、1950年の衆議院「都市建築物の不燃化の促進に関する決議」以来、木材利用の抑制と都市の不燃化を目指して、都市建築物の非木造化に向けた施策が国を挙げて進められてきた。

以来60年余が経過し、日本の緑は見事に回復し戦後造成された森林資源は今まさに利用期を迎えており、森林を保全し活力を維持していくため、木材の抑制ではなく計画的な活用が求められる状況となっている。そのような中、2010年には「公共建築物等における木材利用促進に関する法律」が成立し、これまでの流れが大きく変わり始めた。法を契機に、耐火建築部材等の技術革新や建築基準法の改正による木造建築への規制緩和等により中高層建築物等における木材利用の可能性が大きく注目され始めてきている。

しかしながら、都市において深く根付いてきた木材は使えないというこれまでの常識を覆し、流れを大きく変えるまでには至っていない。こうした現状を変え、国民的課題に対応していくためには、国を挙げた木造・木質化への体制を構築することが喫緊の課題となっていることから、同協議会を立ち上げ、同議員連盟と力を合わせた活動を行っていくこととしました。木産協としましても、議員連盟名簿の顧問に遠藤利明先生、事務局次長に鈴木憲和先生等が掲載されていることから、政策要望活動等のため同協議会に参加することとした。

6 山形県木づかい運動（積木配布：保育園）継続決定!!

平成29年度から始まった「しあわせウッド運動」の「ウッドスタート第2弾」が令和元年度から新たに県内全域の保育園を対象に県産スギ材の積み木を配布していくことが決まった。昨年度までは、県内の幼稚園を対象とし2年間で113施設に配布した。今年度は、村山地域の保育園を対象にしていく計画ですが、施設数が多く完了まで3～4年かかる予定だ。



令和元年度 山形県木材産業協同組合第45回通常総会

令和元年5月24日（金）15時～

ホテルメトロポリタン山形

7 (株)渡会電気土木 木質ペレット製造プラント竣工!!

(株)渡会電気土木(武田啓之社長)4月25日(木)鶴岡市田代地区に東北最大規模の木質ペレット製造プラントをリニューアルし竣工式を開催した。式典には関係者約90人が出席し、工場見学会と竣工祝賀会には約180人が出席した。来賓には大沼みずほ参議院議員、鶴岡市長、県庄内総合支庁長らが出席した。武田社長は「地域資源を活用し、世界で戦うことのできるペレットプラントを完成させた。地域に根差し、要望に応えられる工場として精進を続ける。」と挨拶した。



同プラントは1時間当たりの製造量が従来の1tから3tにアップし、年間約44tを製造する。また、大型ロータリー式ドライヤーや袋詰めロボット、大型電動式移動ラックを採用するなど、安全・高品質・低コスト化を図っている。同社は、地元庄内海岸の松くい虫被害を受けたクロマツやスギ間伐材をペレットの主な原料としている。

8 5月以降の行事予定

5月9日	山形県プレカット協会総会 山形市	副理事長、専務
5月13日	森林を活かす都市の木造化推進協議会設立総会 東京	専務
5月14日	山形県森林協会総会 山形市	副理事長
5月14-15日	全国木材組合連合会総会等 東京	理事長
5月21日	再造林理事会・総会 山形市	理事長、専務
5月23日	林災防山形県支部協議会(総会) 山形市	専務
5月24日	山形県木材産業協同組合総会 山形市	理事長、他
5月28日	山形県JAS製材連絡協議会総会 山形市	理事長、専務
6月1日	やまがた森林の感謝祭2019 酒田市	専務

9 日本百名山シリーズ紹介(阿蘇山)

阿蘇山は、世界最大級のカルデラ火山で50km四方の外輪山と阿蘇五山と呼ばれる中央丘陵帯からなる活火山である。熊本空港に降りる時、外輪山の淵沿いを廻りながら降下していきます。空港から熊本市内の反対方向(北東側)に進むと高原に草千里という見渡す限りの牧草地が広がります。北海道と並ぶ緑の大地という景色である。これが、火口地有料道路? 終点駐車場から、賽の河原、中岳登山道に入ると、景色は一変し灰色の月面を歩いているような生命体を感じられない無機質な大地に代わってしまう。現在のこのコースは噴火警戒レベル2で近づくことができませんが、



賽の河原

当時はサイレンが鳴り響き登山中止の放送が流れながらも控えめに登山ができた。山頂(高岳:1,529m)からの眺めは、生きてる地球を眼下に見下ろし、噴煙を見上げ、長居は無用と急ぎ足で下山することになります。駐車場に戻った時は、車がぼつんと1台だけ残っていました。急いで閉鎖された有料道路を戻りました。本日全面通行止めのバリケードを移動して無事国道に帰ることができました。現在も火山事情で登山規制がある山は、他に浅間山、御岳山、雲仙岳、十勝岳等です。

10 県からのお知らせ

2019 **第12回 全国山菜文化産業祭**

全国山菜サミットin真室川

開催地
山形県真室川町
～真室川音頭発祥の地～

開催日 2019年
5月31日(金)～
6月1日(土)






会場

- ◆真室川町中央公民館 (全国山菜文化産業祭会場)
- ◆イベントハウス遊楽館 (全国山菜文化交流会会場)
- ◆のぞきわらび園 (わらび採り体験会場)
- ◆真室川町歴史民俗資料館 (林業遺産 見学ツアー)
- ◆まむろ川温泉梅里苑体験の森公園

参加定員 300名 (お早めに申込み下さい)
※全国山菜文化交流会については150名まで、
わらび採り体験は40名まで参加できます

参加費

- ◆参加費無料 (全国山菜文化産業祭のみ参加の場合)

※全国山菜文化交流会参加者は5,000円(税込)、
わらび採り体験参加者は2,000円(税込)となります。

イベント内容

基調講演

テーマ:『無形文化遺産「和食」と家庭料理』



講師: **木田 マリ 氏**
(料理家・フードコーディネーター)

きこの料理に詳しい料理家として活躍される傍ら、フードコーディネーターとして多くのテレビ番組の製作に携わっております。

山菜料理試食会

真室川町産の山菜を使用した「山形フレンチ シェ・ボン」オーナーシェフ小松秀文氏による「創作料理」と「町食生活改善推進協議会」による「伝統料理」のコラボレーション試食会。



山菜サミット 記念
山菜料理試食会 料理と創作

山菜・特産品の展示販売



特別ゲスト

2019ミス日本みどりの女神
藤本麗華氏



お問い合わせ・お申込み (※詳しくは裏面をご覧ください)

全国山菜サミット実行委員会(真室川町役場農林課)

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町127-5 TEL 0233-62-2111 FAX 0233-62-2731

主催：山菜文化産業協会、真室川町

後援：林野庁、山形県、最上広域森林組合、もがみ中央農業協同組合、もがみ北部商工会、真室川町観光物産協会、のぞきわらび園

11 3月期の住宅着工状況

平成31年3月期の県内新設住宅着工戸数は514戸となり、対前月比135.3%、対前年同月比96.1%、前年累計比は87.8%となった。地域別では天童市・東根市・新庄市・鶴岡市・酒田市が伸びている。今月は、利用関係別等で持家が1割増、貸家が4割減となった。

1 県内新設住宅着工戸数(平成31年3月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
30.1~3月	1,272	516	519	14	223	1,269	3	1,008	79.2%	607	18	383
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
7月	469	321	104	0	44	467	2	419	89.3%	302	8	109
8月	513	257	205	0	51	479	34	410	79.9%	275	16	119
9月	556	315	190	0	51	546	10	476	85.6%	336	24	116
10月	541	298	173	3	67	537	4	495	91.5%	341	12	142
11月	493	275	165	0	53	489	4	438	88.8%	297	12	129
12月	688	263	204	0	221	684	4	422	61.3%	254	6	162
31.1月	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
2月	380	176	132	0	72	379	1	352	92.6%	208	10	134
3月	514	263	142	2	107	513	1	442	86.0%	315	6	121
対前月比	135.3%	149.4%	107.6%	-	148.6%	135.4%	100.0%	125.6%	-	151.4%	60.0%	90.3%
対前年同月比	96.1%	121.2%	76.3%	18.2%	88.4%	95.9%	-	112.8%	-	143.8%	66.7%	73.8%
30.1~当月計	1,272	516	519	14	223	1,269	3	1,008	79.2%	607	18	383
31.1~当月計	1,117	567	311	3	236	1,112	5	993	88.9%	686	23	284
対累計前年比	87.8%	109.9%	59.9%	21.4%	105.8%	87.6%	166.7%	98.5%	-	113.0%	127.8%	74.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成31年3月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	514	1,117	96.1%	87.8%	993
山形市	158	373	74.2%	80.0%	342
上山市	7	24	46.7%	82.8%	24
天童市	41	124	120.6%	129.2%	102
山辺町	5	10	55.6%	71.4%	10
中山町	4	9	133.3%	180.0%	9
東南村山	215	540	78.5%	88.5%	487
寒河江市	35	47	102.9%	62.7%	46
河北町	7	11	140.0%	100.0%	11
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	1	1	-	-	1
大江町	1	2	-	-	2
西村山	44	61	112.8%	70.9%	60
村山市	4	28	57.1%	311.1%	28
東根市	50	99	135.1%	147.8%	83
尾花沢市	7	7	700.0%	87.5%	6
大石田町	0	0	-	0.0%	0
北村山	61	134	135.6%	157.6%	117
村山地域	320	735	89.4%	94.1%	664
新庄市	31	47	206.7%	180.8%	21
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	1	1	-	-	1

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	0	-	-	0
戸沢村	0	0	-	0.0%	0
最上地域	32	48	213.3%	171.4%	22
米沢市	31	62	50.8%	66.0%	54
南陽市	3	14	75.0%	107.7%	14
高島町	7	21	116.7%	190.9%	19
川西町	2	14	18.2%	116.7%	14
東南置賜	43	111	52.4%	85.4%	101
長井市	8	14	100.0%	41.2%	13
小国町	2	2	-	-	2
白鷹町	2	2	100.0%	100.0%	2
飯豊町	0	1	-	-	1
西置賜	12	19	120.0%	52.8%	18
置賜地域	55	130	59.8%	78.3%	119
鶴岡市	56	103	147.4%	76.3%	100
三川町	6	15	200.0%	250.0%	8
庄内町	3	8	150.0%	42.1%	8
田川	65	126	151.2%	78.8%	116
酒田市	40	75	153.8%	55.6%	70
遊佐町	2	3	200.0%	150.0%	2
飽海	42	78	155.6%	56.9%	72
庄内地域	107	204	152.9%	68.7%	188

注:累計は平成31年1月~